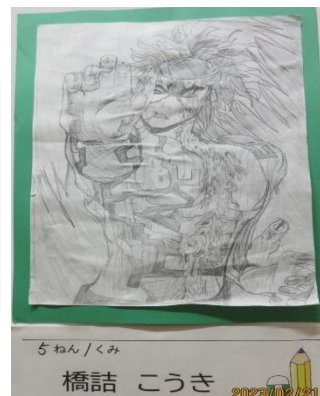


とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



特技披露のイラスト

3月は、次へのバトンを渡しましょう！

3月に入り、昼間は温かな日差しが降り注いでいます。これから、三寒四温を繰り返しながら、春に近づくことを心待ちにしています。一方で、卒業や転出など、悲しい別れの時でもあります。

今月の全校朝会では、「～バトンをつなごう～」について話しました。6年生が、この1年間でとても素晴らしかったことを紹介しながら、5年生以下の子ども達に引き継いでほしいことを伝えました。1つ目は、自分から進んでできるあいさつ、2つ目は、友だちへのやさしい思いやりの言葉かけ、3つ目は読書の多さ、4つ目は外遊びでたくましい体づくりです。卒業生の姿を見て、在校生がこれからバトンを受け継ぐことを期待しています。

3月 全校朝会

～バトンをつなごう～

6年生から、うけつぎたいことって、なんだろう？

6年生のすばらしさのバトンをうけとろう！

だれにでも、じぶんからすすんで
あいさつができる6年生
6月(12人)→2月(18人)
前より自分からできている
17人



6年生のすばらしさのバトンをうけとろう！

友だちへのおもいやりや
やさしいことばをかける6年生
こくご・さんすうタイムで、
「わからんとこ、なか？
ヒントをだそうか？」
やりかたをおしえてよかよ。」



6年生のすばらしさのバトンをうけとろう！

としよしのいろいろな本を
たくさん読んだ6年生
もくひょう60さつをたっせした人
9人/18人
さいこう308さつ へいきん238さつ



6年生のすばらしさのバトンをうけとろう！

そとであそび、からだをきたえた6年生
はれた日は、うんどうじょうであそび、
はやくはしれるようになった人
8人/16人
マラソンタイム 5年生のときより
1ふん29びょうはやくなった。



6年生は、卒業制作を通して、自分たちがお世話になった有田小学校に感謝の気持ちを伝えようとしています。現在、運動場の野球用バックネットのコンクリート土台に、壁画の下絵まで済んでいます。第76回卒業証書授与式までに完成予定だそうです。子ども達が遊ぶ運動場に、素敵な壁画が描かれることを楽しみにしています。

このように、有田っ子によってバトンの受け渡しが行われ、それぞれが進級する春を迎えようとしています。



6年生が描きかけの壁画

PTA 活動、1年間、ありがとうございました！

先週金曜日の夜、新旧のPTA役員さんの引き継ぎ会を行いました。昼間のお疲れの中、ご来校を頂き、ありがとうございました。PTA役員さんには、今年度、コロナ禍で活動が制約される中、有田っ子のためにご尽力を頂き、感謝を申し上げます。地域でのお世話を含め、誕生給食会、バザー、やきものづくり、広報誌「しらかわ」の発行、運動会前後の草刈りやテントの撤収、親子ふれあい活動、6年生の交流、郡P・県P・九Pの会合や大会への参加などなど、引原会長様をはじめ、皆様のおかげで、すばらしい活動ができました。ありがとうございました。

来年度の役員さんの選考も終わり、新役員さんも内定しました。どうぞ、有田小学校のPTA活動も、今年度から来年度へのバトンを引き継いで頂くことをお願い致します。



今年度、最後の誕生給食会
母親部の皆さん、1年間、
ありがとうございました。
今後も宜しくお願いします

今月の有田っ子フライング

今月は、これまでお世話になった、地域の方々、家族、友だち、先生、給食室の調理員さん、上級生等々の皆さんへの感謝の気持ちが伝わるような行動をめざしていきます。

例えば、今週末のお別れ集会や再来週の大掃除等、感謝の気持ちを込めた有田っ子の姿が見られると思います。人に感謝する気持ちを行動で表すことで、自分も人の役に立つことをしようという気持ちになります。「ありがとう」は、自分の生き方を豊かで幸せにする、魔法のことばです。親しい仲でも「ありがとう」が言える家族って、すてきですね。

**ありがとうの
ことう
気持ちで行動する
有田っ子**

シードマイヤーコンサートを開きました！

本校の図書室にある、すばらしいピアノを使って、10 ミニッツコンサートを開きました。今回、演奏して頂いたのは、中山幸子さんでした。クラシックからポップな曲まで、いろいろ演奏されました。聴きにいられた地域の方々や子ども達がうっとりするような素敵な演奏でした。これからも、シードマイヤーを大切に活用しながら、有田っ子が音を楽しむミニコンサートが続けていきます。



演奏に聴き入っている子ども達



合間に、飛び入り演奏をする子ども



曲の説明を加えながらの演奏

通学路の安全を保つために、有田町で対応を検討しています！

先週、校区内の幸平から大樽にかけての通学路を変更しました。その後、防犯ふれあい隊の方々や駐在員さんのご協力を得て、児童の安全を確認しています。その中で、白川から幸平交差点を左折して大樽に向かう車両が、先を急ぐあまり歩道寄りを通ることがありました。それに対して、歩道と車道の境を示す白線を追加する話がでました。しかし、白川からの道が脇道で幸平交差点を通過する通りが主幹道ということで、交差点内の白線の追加は法令上、難しいということでした。そこで、交差点付近における歩道と車道の境を目視できるポールを立てる案がでました。これについては、町教育委員会を通して有田町役場と、近隣の住民の方との協議が必要ということをお願いをしました。結果は未定ですが、学校としては子ども達への交通安全指導と、保護者や地域の方々の見守り、声かけと、警察関係による車両への注意喚起を続けていきます。どうぞ、ご理解とご協力を、これからも宜しくお願いします。



防犯ふれあい隊の方との
交差点付近での立番指導